

令和2年5月18日

魚津市臨時記者会見



日時：令和2年5月18日(月) 午後1時30分～午後1時50分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK、KNB、チューリップテレビ、NICE TV

市当局出席者：市長、企画総務部長、財政課長、企画政策課長

1. 市長からの発表事項

(1) 魚津市補正予算案の発表

- ・明日（5月18日）開催予定の臨時市議会に提出する新型コロナウイルス感染症対策第2弾として、以下のとおり補正予算（第2号）を編成した。今回の補正予算は基本的に中小事業者の事業継続と生活困窮対策を柱に組んでいる。

事業者支援

＜拡充：新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業（上乗せ支援）＞

- ・富山県の休業要請等協力金の対象となる施設を運営する事業者に対し、県の協力金に上乗せして協力金を支給。

＜新規：中小企業金融対策事業（保証料助成）＞

- ・富山県の新型コロナウイルス感染症に係る融資制度を活用する市内事業者に対し、融資を受ける際に発生する保証料を全額助成。

生活支援

＜新規：ひとり親家庭等応援給付金給付事業＞

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う学校の休校や事業所の休業などによる影響を受けやすいひとり親家庭に対し、安定した生活への支援のため応援給付金を支給。

＜新規：高齢者生活支援事業（買い物代行サービス補助）＞

- ・高齢者等の人込みへの外出を減らすなど新型コロナ感染予防対策につなげるため、市内タクシー事業者による買い物代行サービスの利用に対して補助。

その他

＜高齢者向け健康・暮らし相談専用ダイヤルの設置＞

- ・外出自粛による困り事や心配事に看護師や保健師が回答する。

2. 質疑応答の内容

「飲食業への支援」について

《記者からの質問》

飲食業への支援について、市長の思いを聞きたい。

《回答》（市長）

魚津市の特徴として人口に比べて飲食店が多いことが挙げられるが、コロナウイルスの影響で事業の継続が大変厳しくなっている。今回の上乗せ加算で応援の姿勢を示したい。

「買い物代行サービス」について

《記者からの質問》

高齢者等の買い物代行サービスとは、具体的にどのようなサービスの事を指すのか。

《回答》（市長）

利用者がタクシードライバーに買って来て欲しいものを伝え、タクシードライバーに買い物をしてきてもらい、品物と代金（手数料）を交換するサービス。1回の買い物につき、代金の上限を概ね1万円としてサービスを実施している。

「事業者が支援を受けるための条件」について

《記者からの質問》

事業者が魚津市からの上乗せ支援を受ける場合、県の支援を受けていることが条件となるのか。

《回答》（市長）

県の支援を受けなかった事業所についても魚津市からの支援を受けられるようにする。県へ21日までの申請期限の延長もお願いしたい。

「新型コロナウイルス感染症対策第3弾」について

《記者からの質問》

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策第2弾となるが、次の第3弾についてはもう考えているのか。

《回答》（市長）

対策の順序としては、まず感染を抑えて、今回の中小企業の事業継続と生活困窮者の支援、そして遅くならないタイミングで消費の喚起に移りたい。また複合災害、災害時にコロナウイルスの感染をどう防ぐかということも考えている。

「ひとり親家庭等応援給付金」について

《記者からの質問》

児童が3人いる家庭の場合は9万円の支給になるのか。

《回答》（市長）

児童が1人あたり3万円の支給となるので、3人場合は9万円の支給となる。